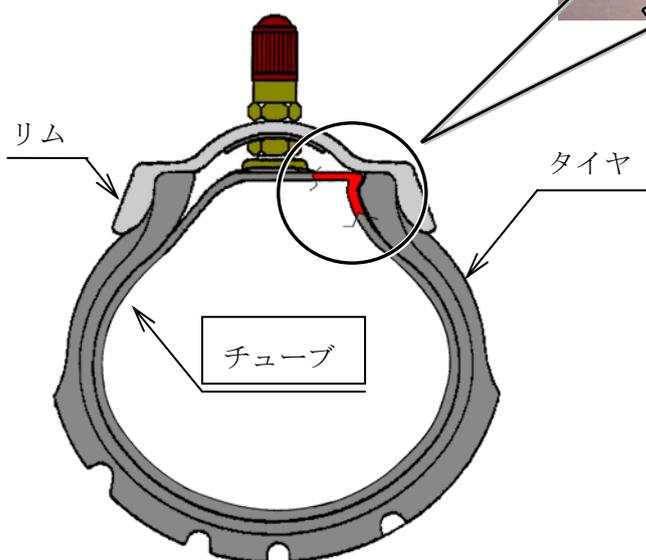
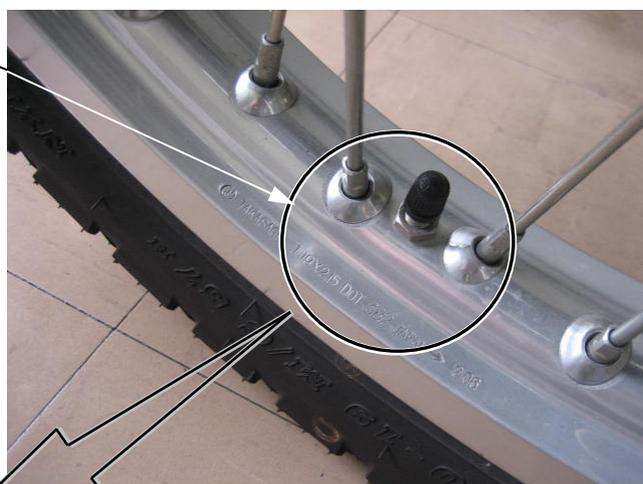


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

前後輪タイヤ・ホイールにおいて、チューブの組み付けが不適切なため、チューブがタイヤとリムに挟まれ損傷している場合がある。そのため、走行中に挟まれたチューブが外れた場合、損傷箇所から空気が漏れ、最悪の場合、バランスを失い転倒するおそれがある。



タイヤ断面図

注： は、点検結果により交換する部品を示す。
識別：車台番号の先頭付近にポンチマークを打刻する。

改善の内容

全車両、前後輪チューブを点検し、チューブに損傷が認められた場合は新品と交換する。